

苦手意識を自信に変え、コミュニケーションを円滑にするための

説明力強化 トレーニングセミナー

参加対象

- 説明するのが苦手な方や、得意でないと感じている方
- 簡潔な説明の仕方や、説明の整理法を学びたい方
- 上司や関係部署などに対して、より円滑なコミュニケーションを図りたい方

本セミナーのねらい

- 1 “伝えること”と“伝わること”の違いを認識・理解します。
- 2 自分の“説明”の仕方について、特徴や課題を把握・認識します。
- 3 “わかりやすく”・“簡潔に”・“印象深く”、相手に伝わる説明の技術を習得します。

特長

- 1 演習中心に構成されたプログラムです。実際に自分で課題に取り組み、実践することで“分かりやすい説明の仕方”のポイントを学びます。
- 2 “説明”の専門家である講師からたくさんのフィードバックを得られるので、多くの“気づき”を得られます。
- 3 他の参加者の説明の仕方を聴くことで、更に多くの“新たな気づき”や“新たな学び”を得ることが出来ます。

プログラム

10:00～17:00＜昼食時間 12:00～13:00＞

- 1日目

1. 今なぜ説明力か？
 - ・説明力が求められる背景 ・説明とは
 - ・コミュニケーションの目的と機能
 - 実習① 伝達ゲーム
 2. 説明の基本となる考え方
 - ・伝わらないことを前提とした関わり方
 - ・相手の価値観を大切に
 - ・聞かれ方を考えて発信する
 - 実習② ペア・ワーク：聞いてもらう状況を整える
 - ◇聞けなければ話せない ◇聞き方の改善トレーニング
 3. 内容構成のポイント
 - ・聞き手の知りたがる順序 ・構成5つのポイント
 - 実習③ 2分間説明トレーニング「私のこだわり」
 - ◇聞かれ方を考えて話す
 4. わかりやすい説明 6つのテクニック
 - 実習④ 3分間説明トレーニング
 - 「最もやりがいを感じた仕事とは」
 - ◇意見交換とコメント
 5. 説明の効果を上げる
 - ・わかりやすさと理論的な話し方
 - ・情報とわかりやすさは反比例 ・強調のスキル
 - 実習⑤ 3分間説明トレーニング
 - 「～を相手に○○の大切さをわからせる」
 - ◇意見交換とコメント

2日目

5. 説明の効果を上げる（続き）
 - ・言葉の力とその限界 ・言葉の抽象性
 - 実習⑤ 具体例を使って説明する
 - 「印象(心)に残った○○」
 - ◇討議
 - ：具体例を使う際のポイント
 - ◇グループ代表による発表 ◇講師コメント
6. 説明における言葉の役割
 - ・言葉の力とその限界 ・言葉の抽象性
 - 実習⑥ 具体例を使って説明する
 - 「印象(心)に残った○○」
 - ◇討議
 - ：具体例を使う際のポイント
 - ◇グループ代表による発表 ◇講師コメント
7. 説明をわかりやすくする具体例
 - ・説明における具体例の種類と生かし方
 - 実習⑦ 5分間説明トレーニング
 - 「前日課題：○○の提案」
 - ◇説明から説得へ ◇相互評価用紙記入
8. 説明は双方向のコミュニケーション
 - ・反応を確かめる ・質問の受け方・答え方
 - 実習⑧ レビュー
 - ◇日常で説明力をどのように磨くか ◇1分間で発表
9. 総括講義

※プログラムは変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

開催日時

2026年 6月23日(火)～24日(水)
2026年 10月15日(木)～16日(金)
2027年 2月9日(火)～10日(水)

[時間] 10:00～17:00

会場 AP大阪梅田東 (大阪市北区梅田)

講師 (敬称略)

櫻井 弘 株式会社 話し方研究所 顧問

参加料 (税込)

- 法人会員…121,000円/1名
- 会員外…148,500円/1名

